

令和3年(2021年)1月31日(日曜日)

# 例祭でコロナ収束願う

## 三島・腰切不動尊 市民ら読経や礼拝



三島市南本町の腰切不動尊で30日、例祭が開かれた。管理するNPO法人グラウンドワーク三島や地元住民らが清掃作業を行い、読経と礼拝をささげた。

腰切不動尊は1633年に腰から上だけの状態で発見されたと伝わる石仏がまつられている。腰から下の病腰切不動尊に手を合わせる参加者＝三島市南本町(写真の一部を加工しています)

気やけがの治癒、安産などの御利益があるとされ、戦後間もないころまでは大勢の住民が集まっていたという。1999年から同NPOが受け継いで管理を続けている。

例祭ではみ堂の中を清掃し、のぼり旗を掲げてきれいにした後、参加者が経を讀み上げて手を合わせた。小松幸子理事長は「無病息災、コロナ収束を願った。また多くの人が集まれるようになってほしい」と話した。(三島支局・金野真七)